

ヒーリング基礎理論と ワクチン解毒方法

2022.3.26 by 氣幸師ますてい

はじめに

メモを取られるなら・・・

- ・ 気になったこと
- ・ 気がついたこと
- ・ 疑問に思ったこと
- ・ ひらめいたこと
- ・ 自分ならどうするか

といったことをお取りください＾＾

また、まずていがお話しすることの全てが
「唯一の正解」ではありません。

「氣幸師ますてい」について

宮崎県在住。氣幸師（気功師/ヒーラー）、作家、半農暮らし人
20歳で経皮毒について知ってしまい、
以後、人や地球を蝕んでいる社会毒を減らす暮らしを心がけ、
また提案する活動続ける。

結局、この活動がいちばん問題意識としてしっくり来ていたことと、
次の時代を見据えて、目には見えない領域を扱う必要性や可能性を感じ、
現代気功理論を学ぶ。

現在は氣幸師として、遠隔施術とともに、氣幸師の養成をオシゴトにする。
何となく時の要請、流れで今に至る（気がする）。

主な氣幸施術と改善ケース

レビー小体認知症、帯状発疹後の神経痛、胃癌、顔面麻痺、生霊除去、不眠症、自律神経失調症、悪縁切り、バセドウ病、心の傷、肺気胸、統合失調症、生理痛、便秘、慢性頭痛、
アクセサリー浄化、自己肯定感の向上、ワクチン毒軽減、

開業 1 年目に実際にあった話

- ・ 15 年来取れなかった顔の麻痺でお悩みのクライアント。
→ 15 分で麻痺は取れ、歪みも矯正された。
- ・ 自分についた除霊ができないと、ご依頼頂いたエネルギー系ヒーラー。
→ 生霊はすぐ取れ、取り方をお伝えしすぐに「セルフ除霊」も再現された。
- ・ ベテラン気功師に施術を依頼してきたクライアント。
→ ますていの施術の方が効果が実感できた。

ヒーリングをやってみましょう ^ ^

ヒーリングの基礎理論

ヒーリングには法則がある。

ヒーリング能力の方程式

ヒーリング力 = あなたの情報量（知識＋経験） x 想像力 x 共有力

直感

直感は、あなたの情報量（知識・経験）の上で発生する。

質問例

体格

年齢

性別

思い当たるきっかけ・発症時期

お住まいの土地、家の雰囲気

お墓や病院が近くにあるか

普段お使いの日用品

食事／完食の傾向

入浴の方法や回数

水分の摂取量

睡眠の質、量

生理の周期は安定しているか

発熱や発汗、頭痛の有無

近くに発電所や変電所、5Gのアンテナがないか

コロナワクチン（*今後はあらゆるワクチン）の接種の有無

かかっている医者の有無、診断結果、処方箋

常用しているサプリや市販薬

ウイルス・新型ワクチンの基礎

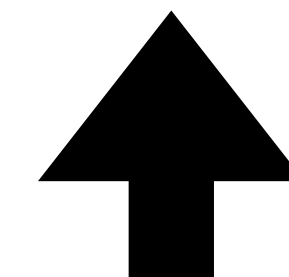
ウイルスの基礎

他生物の細胞を利用して自己を複製させる、極微小な有機体。
タンパク質の殻とその内部に入っている核酸（RNA/DNA）からなる。

- ・細菌とは別扱い（大半のウイルスは細菌よりずっと小さい）。
- ・ものすごい数の種類がある。
- ・人体に何も悪さをしないウイルスも多い。
- ・感染した宿主の意思決定に関わるものもある。

ウイルスの基本的な動き

細胞表面への吸着 → 細胞内への侵入 → 脱殻（だっかく） → 部品の合成 → 部品の集合 → 感染細胞からの放出



他の生物の細胞の中

新型ワクチンの基礎

新型ワクチン：mRNAワクチン、ウイルスベクターワクチン。

特定ウイルスのスパイクタンパクを接種者の体内で発現させ、
そのウイルスに対する抗体を作らせることを目的とする。

- ・ SARS-CoV-2(珍型コロナウイルス)のほか、HIV、マラリア、インフル、ジカウイルスなどでヒト臨床試験が行われていた。
- ・ 今後は注射以外に吸引型、摂食型、SARS-CoV-2以外の聴き慣れたウイルスや疾患に対しても、このワクチン技術が当たり前になってくる可能性が濃厚。

既にわかっていることの一例

特定ウイルスの遺伝情報が、接種者の細胞内DNAに逆転写される。
ベクター（ウイルスなど）の遺伝情報も染色体に統合される。
原料のひとつナノ皮質分子（LNP・ハイドロジェル・ナノボット）が体内免疫を攪乱する。
LNPは数年体内に残る。
免疫抑制やサイトカインストームが起こる。（基礎疾患の重症化、癌の再発などが頻発する）
体内で酸化グラフェンが増殖する。
全身で血栓ができる。
スパイクタンパクがミトコンドリアを損傷する。
接種者の身体はスパイクタンパクの工場となり、分泌物からスパイクタンパクが排出される。
このスパイクタンパクは新たに、周囲の人々に感染する（Shadding）。
体内組織から高い放射線量が検出される。
ワクチン接種済みの人が室内にいと、ホルムアルデヒドやTVOCが上昇。

<https://www.ahajournals.org/doi/full/10.1161/CIRCRESAHA.121.318902>

https://media.tghn.org/medialibrary/2020/11/C4591001_Clinical_Protocol_Nov2020_Pfizer_BioNTech.pdf#page67

<https://www.youtube.com/watch?v=Bi0yJWSLZTk>

<https://lorphicweb.com/wp-content/uploads/2022/02/cimb-44-00073.pdf>

情報公開された、ファイザー社が事前に知っていた副作用（146/55,000ページ）

<https://phmpt.org/wp-content/uploads/2021/11/5.3.6-postmarketing-experience.pdf>

新型ワクチンは生物兵器である。



<https://medickidnap.com/2021/04/25/urgent-5-doctors-agree-that-covid-19-injections-are-bioweapons-and-discuss-what-to-do-about-it/>

Dr.マーロン（mRNA技術の開発者）が使用中止を訴え（<https://rumble.com/vt96ti--defeat-the-mandates-rally.html>）。

英国ファイザー（元）副社長が使用中止を訴え（<https://www.bitchute.com/video/1gO5n6h6rEOC/>）。

英国政府：2度のワクチン接種で自然免疫に損傷。

https://assets.publishing.service.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/1027511/Vaccine-surveillance-report-week-42.pdf

スウェーデン研究：6時間でウイルスのmRNAが人体のDNAに逆転写される。

<https://www.mdpi.com/1467-3045/44/3/73>

求められる解毒アプローチ

- ・ LNP & ウイルスmRNAの分解（お注射直後の人）
- ・ 重金属の体外排出
- ・ 酸化グラフェンの分解、体外排出
- ・ スパイクタンパクの除去
- ・ スパイクタンパクの細胞内合成を抑制
- ・ 血栓の解消
- ・ 身体内の炎症を抑制
- ・ 腸内環境を正常化させる

ヒーリングによる解毒アプローチ

- ・ ウイルス（スパイクタンパク）のmRNA破壊
- ・ 腸（小腸・大腸）内環境、腸壁を整える
- ・ 血液（赤血球・白血球）の浄化
- ・ 肝臓の浄化解毒
- ・ ミトコンドリアを活性化 & 5-ALA生成を促進
- ・ グルタチオン生成 & グルタチオン抱合の活性化
- ・ DNAの修復/再書き換え

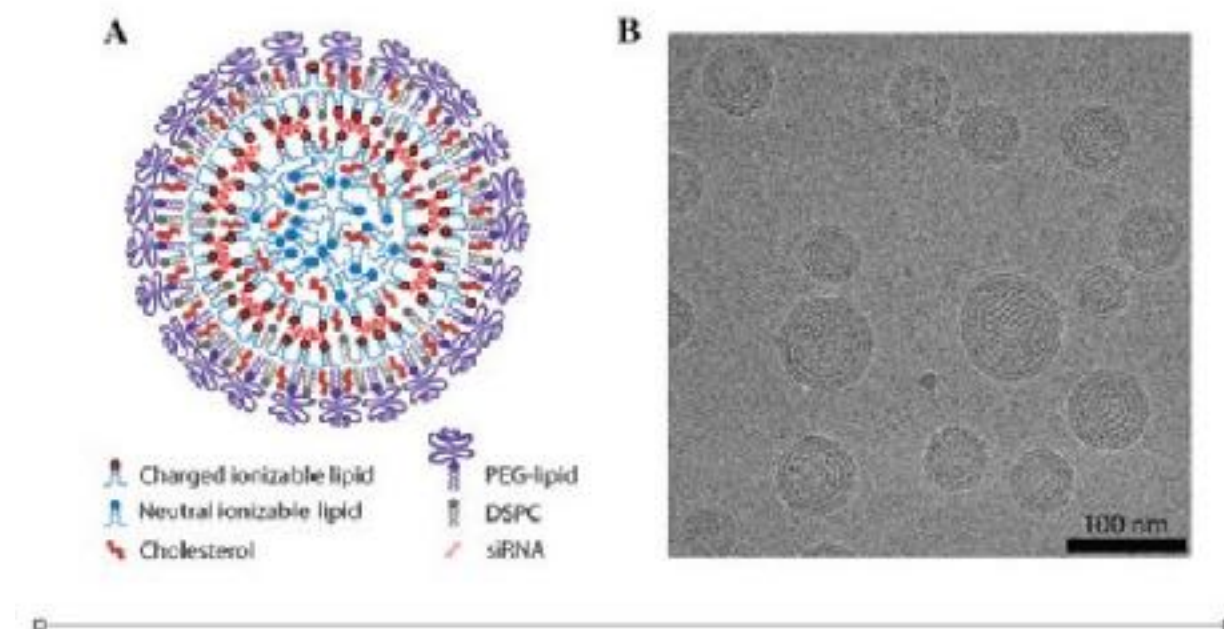
LNP(ナノ皮質分子) & ウイルスmRNAの無効化

- ・ 既存の、mRNAワクチンに標準搭載された技術。
- ・ LNPがあることで、人体側はワクチン(mRNA)を異物認定しにくくなる。



- ・ LNPを異物認定化。
- ・ mRNAを切断。
- ・ リボソーム内でのmRNA翻訳を強制終了。
- ・ JJ社、AZ社のワクチン（ウイルスベクターワクチン）の場合はさらに、
ベクターとなるウイルスDNA(またはRNA)の無効化が必要。

LNPの異物認定化



ウイルスmRNAの無効化

ワクチン由来のmRNA情報を集める。

ファイザー社のmRNAワクチン塩基配列情報

<https://asakura.chiba.jp/archives/17726>

翻訳開始コドン（AUG）を見つけ、mRNAを切断する。

リボソーム内で翻訳されているワクチン由来のmRNAを見つけ、途中で切断する。

- ・ LNPの表面に、傷をつける。
- ・ 別のエネルギーを足して別の物質にする。

できるだけ鮮明なイメージが持てるよう、
実物の構造や大きさ、画像など
資料を集めておく。

腸内環境を整える

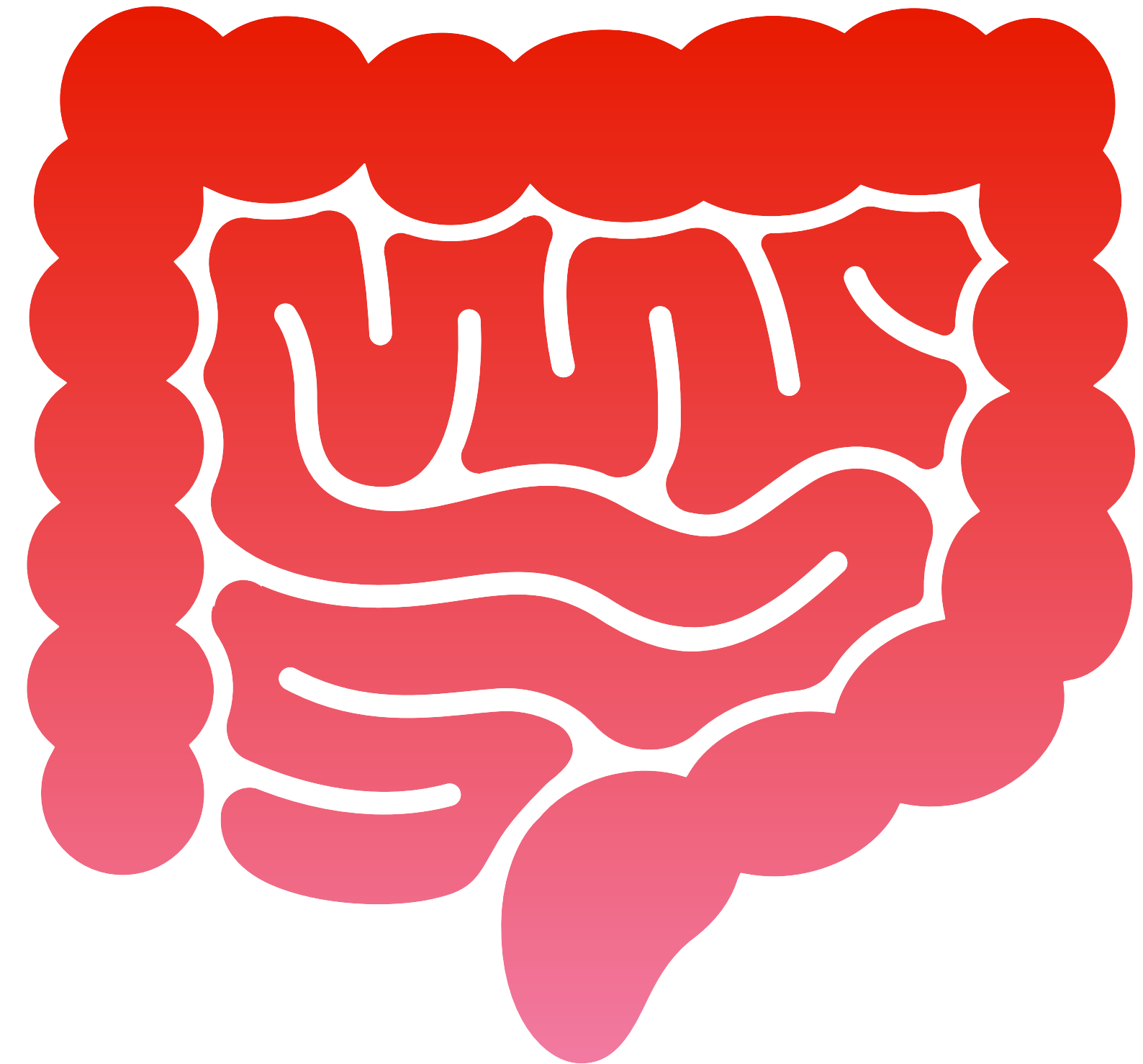
腸（小腸・大腸）は体細胞生成の要。

ワクチン摂取後、
腸管内壁が損傷して免疫が崩れる。
毒素が体内に入りやすくなる。
腸内細菌叢も打撃を受ける。

腸へのヒーリングは色々アプローチがある。

今回の場合は、

腸管に軟膏を塗るようにヒーリングするとやりやすい。



血液の浄化

赤血球：酸素や栄養分を運ぶとされる細胞。正常時は穴のないドーナツ型の球体。

ワクチンに被曝すると金平糖のようにとがる。

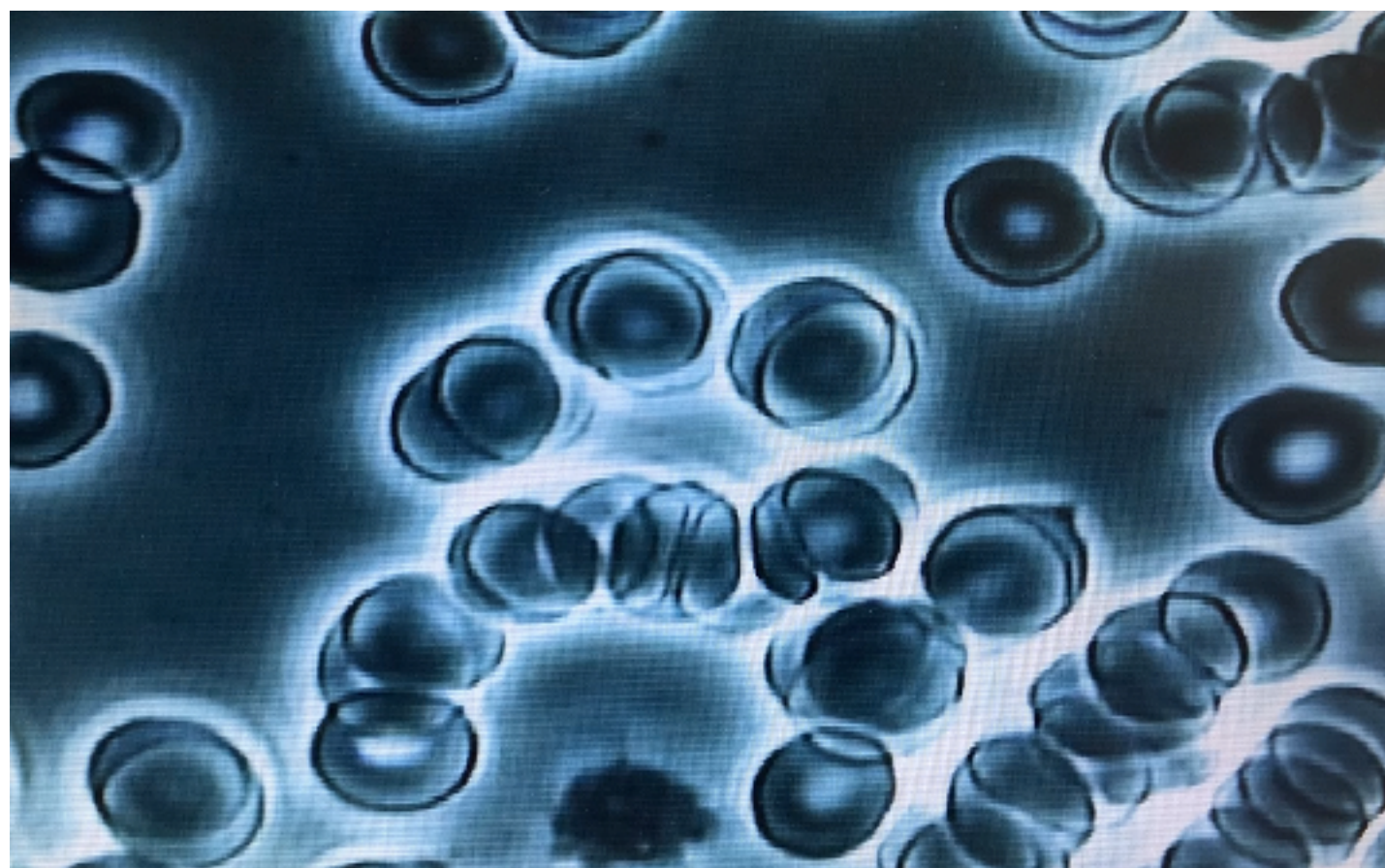
また赤血球同士が癒着する（酸化グラフェンの磁石化の影響か）。

→**血栓化**。

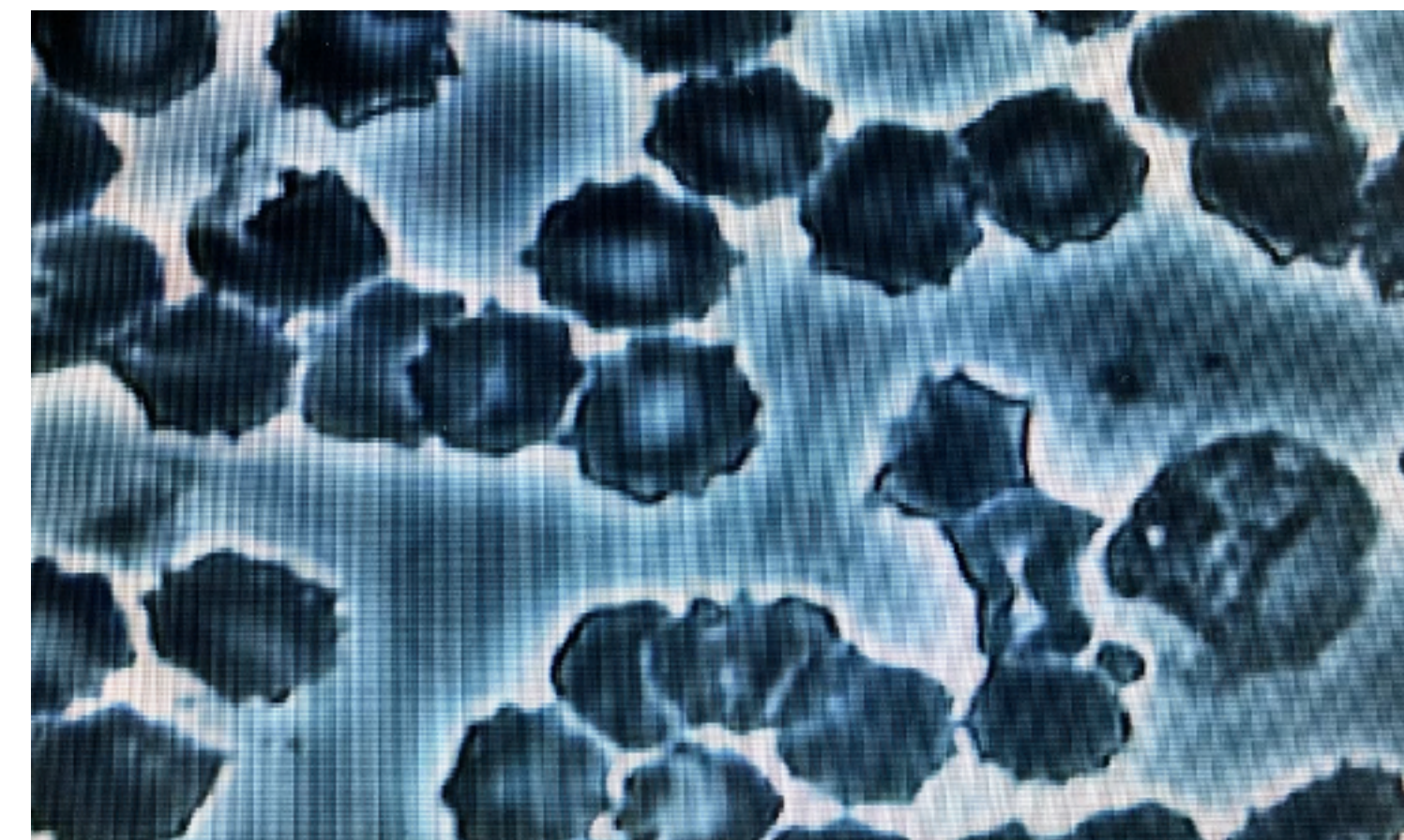
白血球：侵入した異物を捕食してくれる細胞の総称。

ワクチン摂取後、部分的に、酸化グラフェンやスパイクタンパクを捕食し消化する。

正常



ワクチン摂取後



血液・血管をヒーリングする

1 血液を浄化する

赤血球の癒着を切り離す。
金平糖を元のドーナツに戻す。

2 血管を修復する

鬱血が見られる場所は集中的に再生を行う。
全身の毛細血管を潤しきれいにする。

血液・血管へヒーリングを行うときは、
自身の脈に触れ、
血流のリアリティを感じながら行くとやりやすい。



ミトコンドリア活性化 & 5-ALA生成を促進

ミトコンドリア

生命のエネルギー発生装置。人体のあらゆる活動の原動力。

5-ALA（5 アミノレブリン酸）

コロナウイルス（珍コロ）抑制効果が正式に判明 *長崎大学（北教授）

<ポイント>

スパイクタンパクがACE2受容体に結合するのを抑制する。

mRNAのG4構造を阻害して、増殖を抑制する。

サイトカインストームを抑制する。

酸化グラフェンの分解を促進する。

Sheddingに対する防御力が向上する。

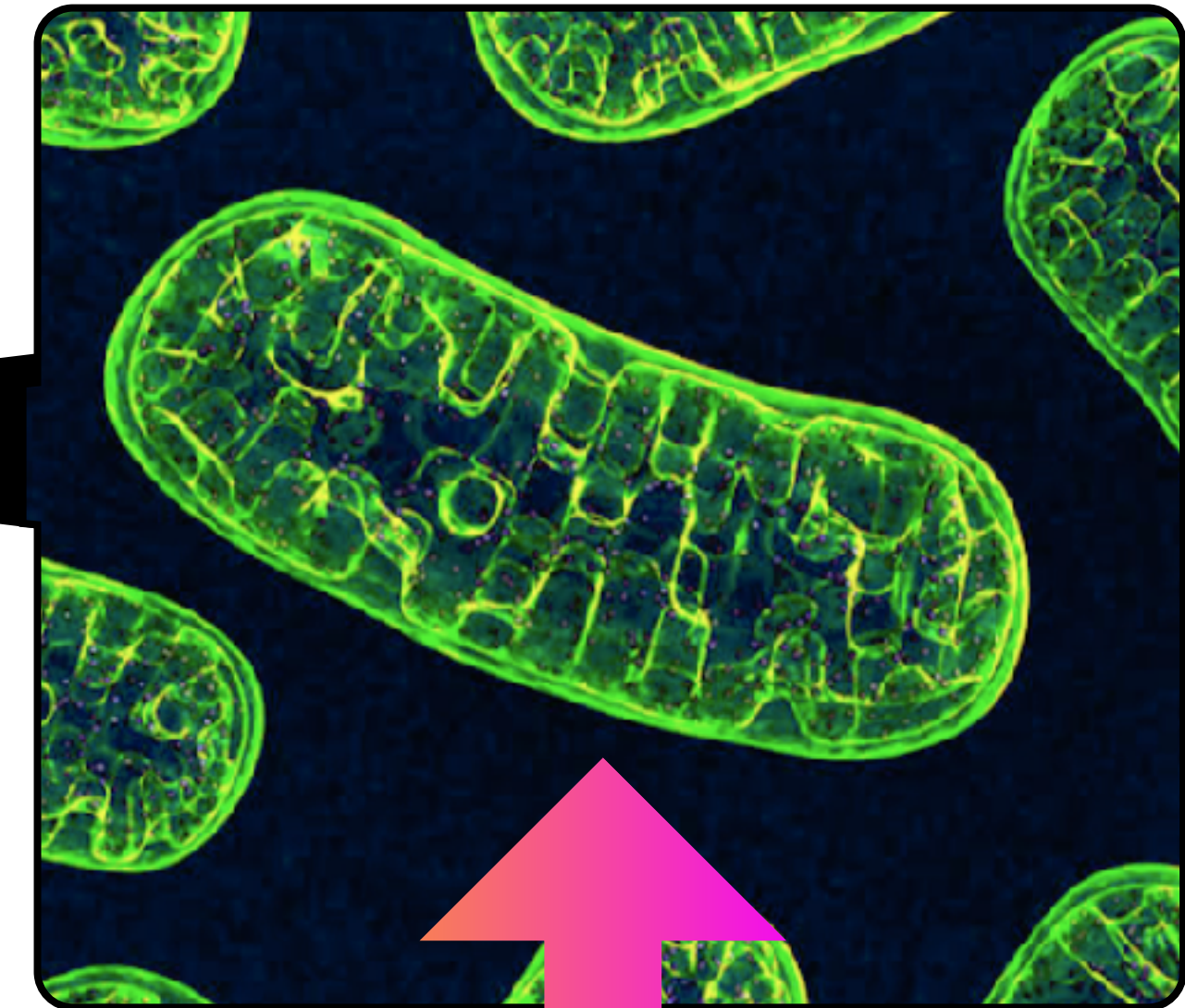
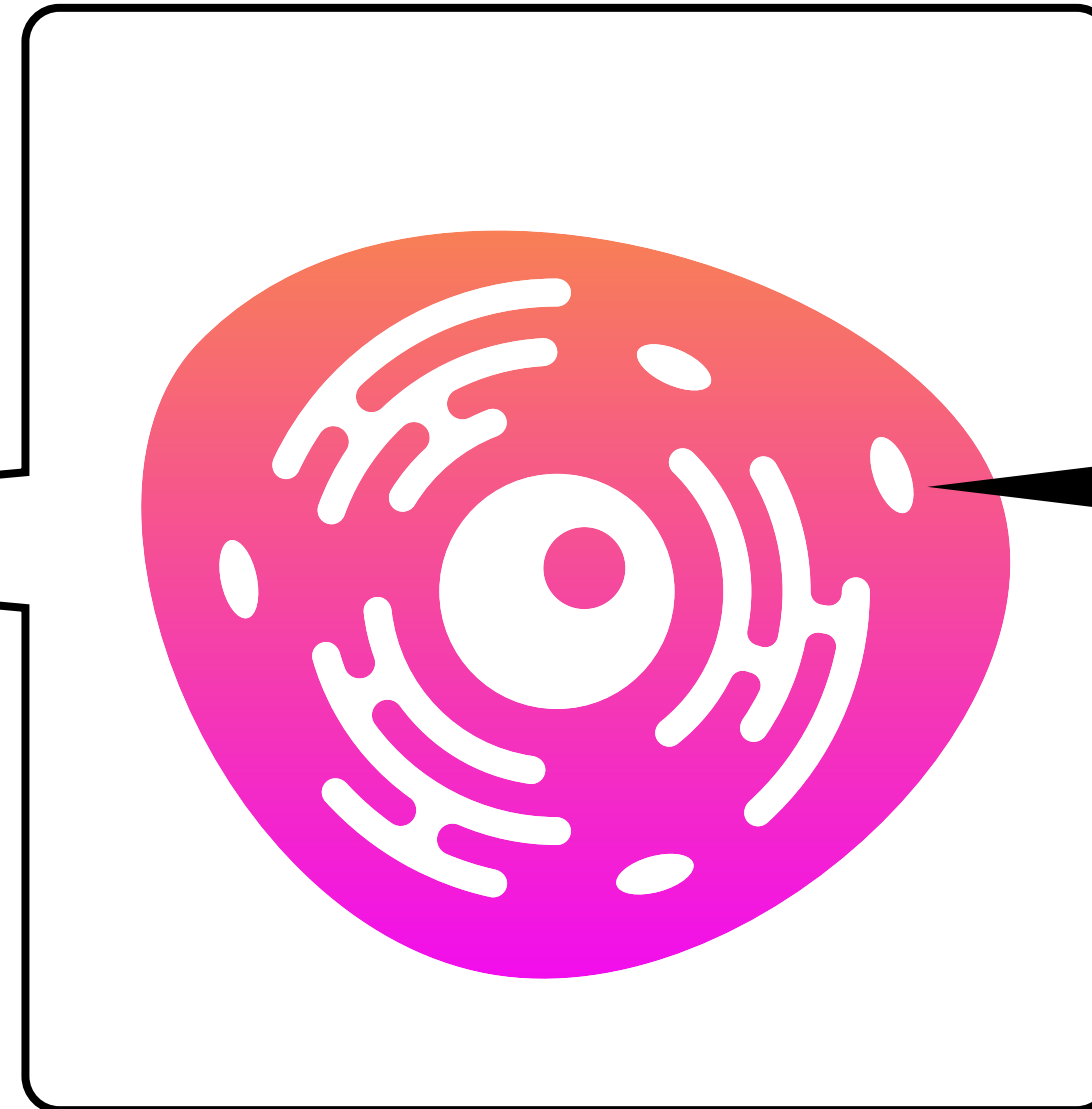
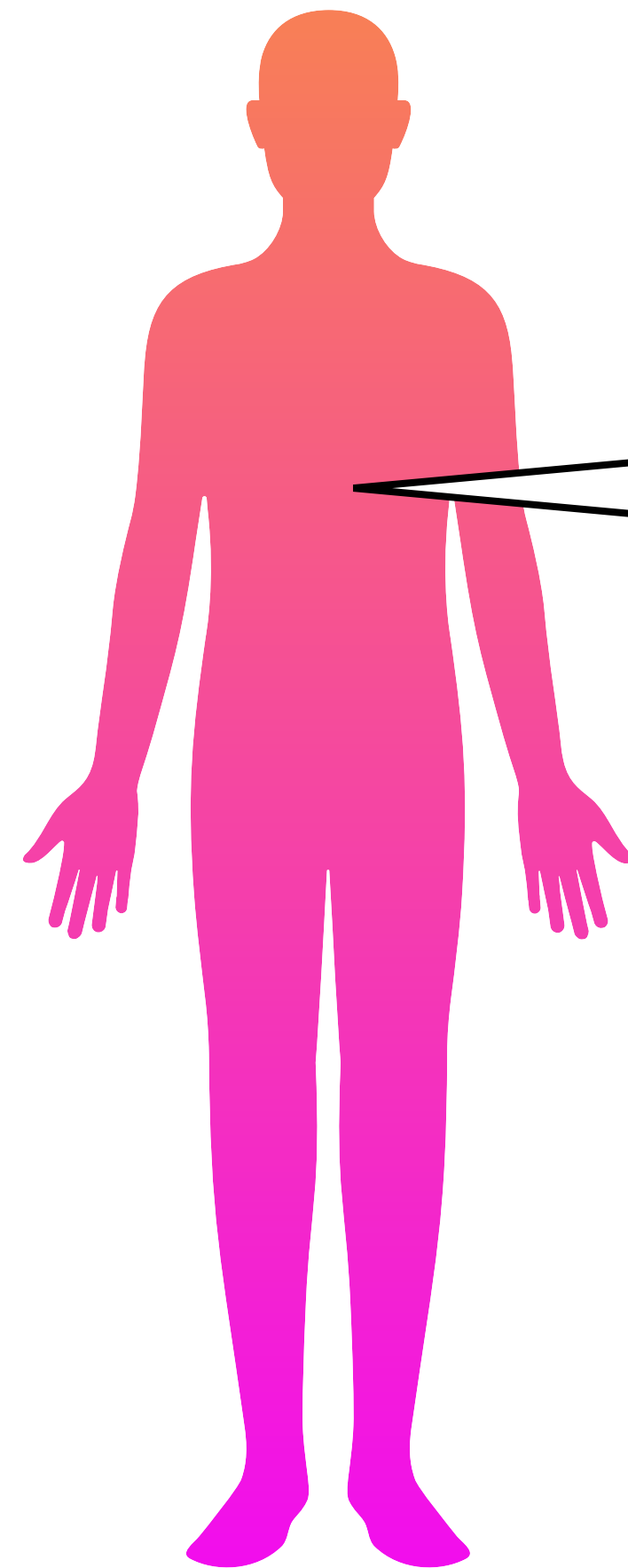
体外からの摂取は極めて限定的。

細胞内のミトコンドリアで生成される。

ミトコンドリアをヒーリングする方法

ヒトの細胞

ミトコンドリア



ヒーリングをかける。
激しく動かすイメージがよい。

グルタチオン生成 & グルタチオン抱合の活性化

グルタチオンとは

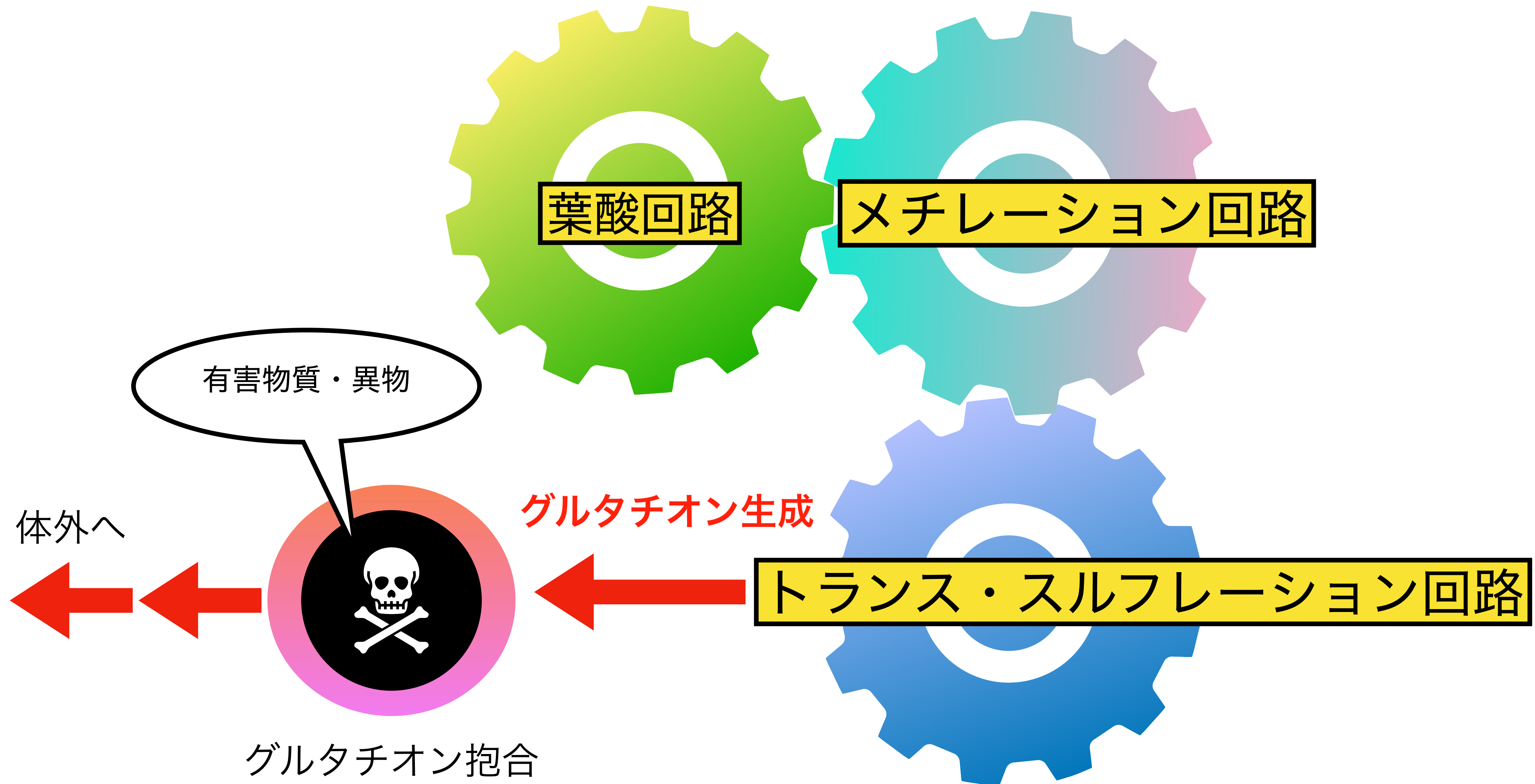
体の中でH₂O（水分子）の次に多く存在するタンパク質。

体内合成される、最大の水溶性抗酸化物質の一つ。

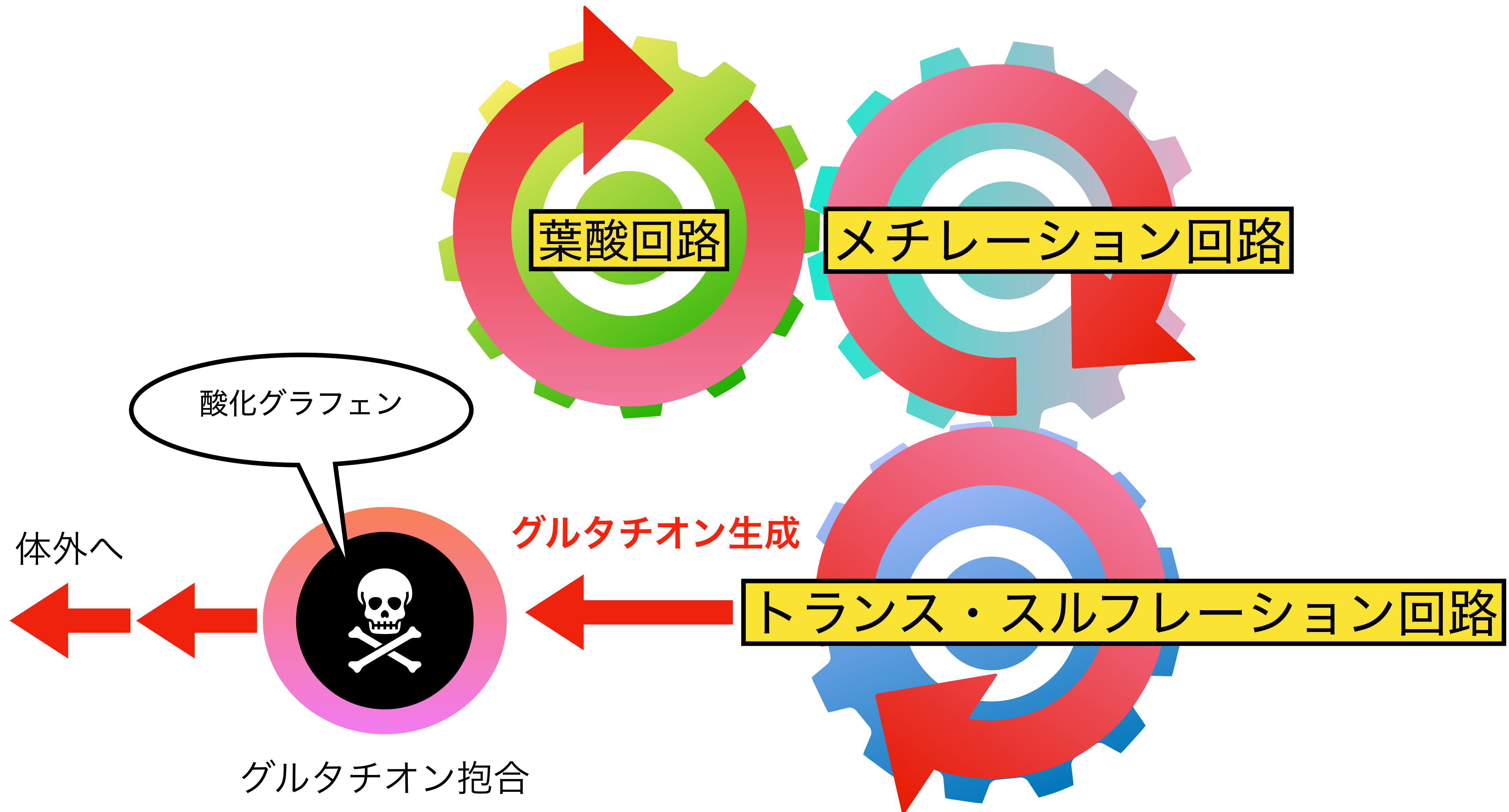
全身の細胞内で生成され、特に肝臓の中で多く作り出される。

重金属・化学物質・薬物代謝物などの汚染物質に結合して、
身体外へ排出し解毒する。

グルタチオンの生成から解毒まで（略図）



ヒーリングで一連のサイクルを回す



DNAの修復/再書き換え

BNT162b2 sequence (4284 bases)



Figure 1. PCR primer set used to detect mRNA level and reverse-transcription of BNT162b2. Illustration of BNT162b2 was adapted from previously described literature [34].

RT-qPCR results showed that Huh7 cells treated with BNT162b2 had high levels of BNT162b2 mRNA relative to housekeeping genes at 6, 24, and 48 h (Figure 2, presented in logged $2^{-\Delta\Delta CT}$ due to exceptionally high levels). The three BNT162b2 concentrations led to similar intracellular BNT162b2 mRNA levels at the different time points, except that the significant difference between 1.0 and 2.0 $\mu\text{g/mL}$ was observed at 48 h. BNT162b2 mRNA levels were significantly decreased at 24 h compared to 6 h, but increased again at 48 h.

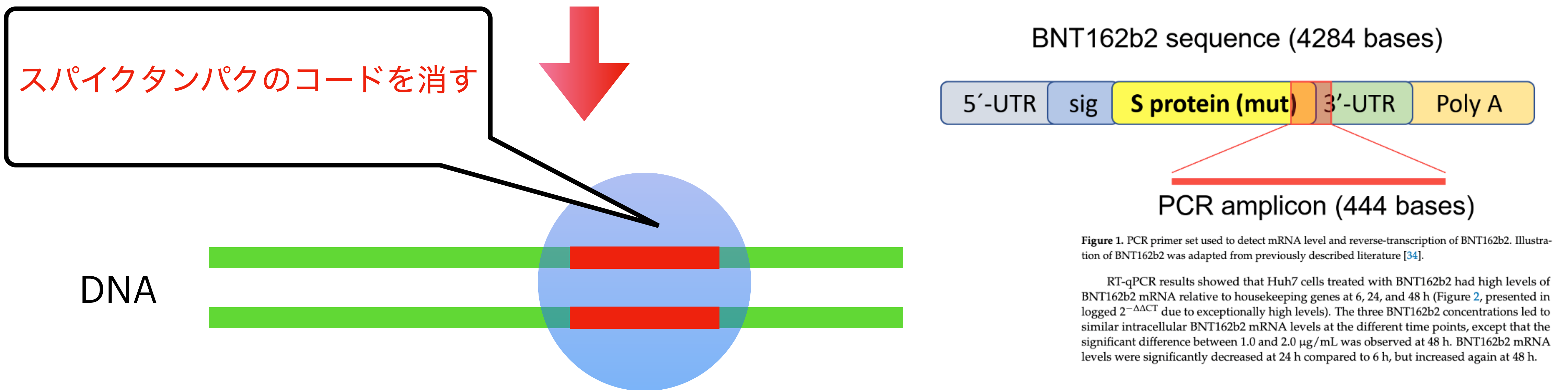
- ・ ワクチンを一度打つと、6 時間でmRNAが接種者のDNAの一部組み込まれる。
接種者が歩くスパイクタンパク合成工場になる。

<https://lorphicweb.com/wp-content/uploads/2022/02/cimb-44-00073.pdf>

ヒーリングによるDNAの修復/再書き換え

- ・ DNAは不変/安定した分子ではない。
- ・ 外因によって絶えず変化している。
- ・ エラーや損傷部位に対する修復能力がある。

ヌクレオチド除去修復：DNAの損傷部位を、認識、切り取り、埋め合わせ、修復、再連結させるシステム。



千島学説

故・千島喜久男教授（岐阜大農学部）の提唱・検証した、生物理論・学説。
8大理論に集約される。

例）血球は腸（小腸の繊毛）で造られる。

赤血球は様々な体細胞が分化する母体である。

体細胞と赤血球は、病的状態の時は可逆的に分化する。



DNAは情報体ではあるが、生命体を絶対的に規定するものではない。
取り入れる条件（食べ物、心身コンディション、環境要因、気など）によって、
体細胞は（赤血球から）いくらでも変化する。

コロンビア大学が腸で血球が作られることを「発見」

<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2018/12/post-11376.php>

瞑想と自然浴

深い変性意識状態に入ったり、
自然浴（森林浴・日光浴・海水浴など）をして過ごす
と、ヒトは、カラダが本来持つシステムを取り戻す。

自然の「エネルギー」サイクルは
（今はまだ）豊富にある。

基本は穏やかで深い呼吸。

もう一度ヒーリングやってみましょう ^ ^

おしまい ^ ^